

兵庫県養父市国家戦略特区内で 本年度の水稲栽培を開始しました

この度、たじまのおこめ生産部会が「国家戦略特区支援事業委託事業（兵庫県）」として平成30年度の水稲栽培を開始しました。肥料は『固形堆肥』『完熟堆肥』『消化液』の3種類を使い分け、栽培品種は『コシヒカリ米』と『多収米』の2種類を栽培します。収穫したお米は、『道の駅ようか但馬蔵』で販売する予定です。

現在、国家戦略特区内において、当社が属するトーヨーグループ3社（株式会社トーヨー建設、株式会社トーヨーエネルギーソリューション、株式会社トーヨー養父バイオエネルギー）が発注から元請までを担う「トーヨー養父バイオメタン発電所」の建設が進んでおりますが、完成後はこの発電施設より生成される消化液を肥料として使用いたします。

トーヨーグループは、国内全域で再生可能エネルギーの他、アグリ事業にも注力し、特区認定事業者として営農とバイオメタンを組み合わせた事業を開始するなど、アグリ事業の新たな形にも取り組んでおります。



現地の水稲栽培の様子